

令和元年度 津波防災地域づくり 講演会 in 広尾

参加無料

定員300名

どなたでも参加できます
事前申し込みが必要です

～津波防災地域づくり
について学ぶ～

津波避難訓練

東日本大震災で十勝港に押し寄せた津波



写真提供：広尾町



津波で被害を受けた漁船



避難階段

日時 令和元年10月25日 金

13:30 - 15:10 (開場13:00~)

場所 広尾町児童福祉会館
広尾町東2条10丁目1

甚大な津波被害をもたらした東日本大震災から8年が経過しました。

また、昨年9月6日に、北海道で初めて震度7を観測した北海道胆振東部地震では、津波被害こそありませんでしたが、44名もの尊い命が失われるとともに、広範囲にわたる土砂崩れや地盤の液状化が発生し、道内全域で停電となるなど、道民生活に大きな影響を与えました。

津波はいつ、どのような形で起こるか予測することが難しいので、津波が想定される地域では、日頃から防災や減災の対策を講じておく必要があります。

11月5日の「津波防災の日」を前にして、「巨大津波想定にどう向かい合うか」について、災害社会工学が専門の片田敏孝氏を講師に招き、講演会を開催します。

防災や減災に対する意識を継承すべく、高校・専門学校の学生など若い世代を対象とした内容の講演を予定しておりますので、数多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

開場・受付 ……13:00

開 会 ……13:30

開会あいさつ ……13:30 北海道建設部長

講 演 ……13:35 ~ 15:05

片田 敏孝 「巨大津波想定にどう向かい合うか」

閉会あいさつ ……15:05 (一財)北海道建設技術センター理事長

閉 会 ……15:10



主催：北海道、一般財団法人 北海道建設技術センター

後援：広尾町、十勝町村会

講師プロフィール

片田 敏孝 氏 東京大学大学院情報学環 特任教授
(かただ としたか) 群馬大学 名誉教授

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、平成16年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組んでおり、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。平成24年には防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞、また平成26年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講もしている。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会副会長、日本自然災害学会評議員がある。



申し込み方法

当日の参加申し込みも承りますが、会場整理の都合上なるべく事前申し込みをお願いいたします。インターネット、FAX または電話にて 10月11日(金)17時までに申し込みください。なお、定員に達した場合は締め切りますのでご了承ください。

●インターネットにてお申し込みの場合

一般財団法人北海道建設技術センターホームページの最新情報より「津波防災地域づくり講演会 in 広尾」のページからお申し込みください。(URL : <https://www.hoctec.info>)

●FAXにてお申し込みの場合

下記にご記入の上、**FAX 011-711-2630**(北海道建設技術センター)までお申し込みください。

	ふりがな お名前	お住まい(市町村名)	ご職業	会社名等	電話番号
参加 申込書					

※参加申込書に記載された個人情報は、受付整理や当講演会に関する諸連絡のみに利用し、それ以外の目的には使用しません。

●電話にてお申し込みの場合

TEL 011-711-2300(北海道建設技術センター)までお申し込みください。

記入欄(防災や減災について、お持ちのお考えなどをご自由にお書きください。)

●申込方法についてのお問い合わせ



一般財団法人 北海道建設技術センター 総務部契約研修課
津波防災地域づくり講演会事務局担当
TEL : 011-711-2300 E-mail : info@hoctec.or.jp

●講演会についてのお問い合わせ



北海道建設部 建設政策局 維持管理防災課 施設防災グループ
TEL : 011-231-4111(内線 29-763)、
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/sbs/index.htm>
E-mail : kensetsu.kenbou@pref.hokkaido.lg.jp